



令和8年度 八幡市当初予算案の概要

住んでよし、訪れてよし

Smart Wellness City,
Smart Welcoming City

Yawata City

みんなで創って好きになる
健やかで心豊かに暮らせるまち





予算編成の基本的な考え方

R7 現状認識

- ▶ 義務的経費増加に加え、資材価格の高騰等による事業費変動などの影響を受け、令和6年度決算では経常収支比率が101.8%となる等非常に硬直した財政構造
→ 更なる財源確保や歳出の重点化・見直しが必要
- ▶ 第5次総合計画の着実な推進
→ 後期基本計画の4年目 ➡ 第5次総合計画の将来都市像と基本目標に向け、中長期的な視点で今後の財政見通しを踏まえた解決方策を検討し、各施策を着実に推進
- ▶ 歳入の伸び悩みと歳出増加への対応
→ 生産年齢人口の減少が続き、円安や賃上げ・物価高騰・社会保障経費の増加等により収支面は予断を許さない状況であり、持続可能な行政サービスを行うことができるよう、慎重かつメリハリのきいた予算執行が不可欠
→ 持続可能で健全な財政運営の確立がより一層求められる状況

R8 予算編成の考え方

- ▶ 市長就任後、任期後半となるR8の予算編成
→ 第5次総合計画の目指すべき将来都市像を実現し、現世代から将来世代につながる施策を展開
→ 一般会計予算規模 358億3,000万円 (+7.0%)
- ▶ 国補正予算等を活用して、安心安全対策を前倒しで実施
→ 2月補正予算対応 4億円規模 (13か月予算)



予算規模

第5次総合計画後期基本計画の達成に向け重点6分野に投資

- 国補正予算等も活用した13か月予算として編成
- 八幡だからこそできる『成長を掴むまちづくり』にむけた予算として編成
- 国庫補助金を活用した物価高騰対策費の増や人件費増等の影響により、過去最大規模

➤ **一般会計 358億3千万円**

(対前年度当初比 +7.0%)

➤ **特別会計 170億2千万円**

➤ **事業会計 50億6千万円**

全会計合計 579億1千万円



当初予算に加え、2月補正において、

4億円規模の予算を編成

(13か月予算)

(単位：千円、%)

会計名	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率	
一般会計	35,830,000	33,500,000	7.0	
特別会計	休日応急診療所	27,500	27,900	△ 1.4
	駐車場	10,800	11,300	△ 4.4
	国民健康保険	7,047,500	7,340,900	△ 4.0
	介護保険	7,128,000	6,765,900	5.4
	後期高齢者医療	2,805,000	2,576,200	8.9
	合計	17,018,800	16,722,200	1.8
水道事業会計	2,720,480	2,831,661	△ 3.9	
下水道事業会計	2,336,495	2,380,712	△ 1.9	
総計	57,905,775	55,434,573	4.5	



第5次総合計画の概要

(2018-2027)

— Smart Wellness City, Smart Welcoming City —

■ともに支え合う「共生のまち やわた」

～多様な生き方を尊重し合い、共に輝きながら生きていけるまちづくり

■子どもが輝く「未来のまち やわた」

～未来を担う子どもの成長を地域で一貫してサポート

■誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

～「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるスマートウェルネスシティの推進

■自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

～歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち」

■しなやかに発展する「活力のまち やわた」

～人・物の流れをつくる基盤の整備

■持続可能な「安心・安全のまち やわた」

～市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進

※次ページ以降に主な事業を掲載



「共生・協働のまちづくり」

多様な生き方を尊重する共生・協働社会の推進

障がいのあるなしにかかわらず安心して暮らせる社会の推進 **新規**

- ・ **「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定**に向け、調査・分析を実施 計画期間：R9～R11（3年間）
- ・ 障がい児・者等の相談支援体制をより一層充実させるため、総合的な相談支援や権利擁護及び虐待防止などを一体的に担う **「基幹相談支援センター」を設置**



生涯学習の推進

新規

八幡市民図書館に自習席を設置し、八幡の子どもたちや市民が静かな環境で自学自習できる場を提供

外国人が暮らしやすい地域社会づくり

継続

相互理解促進に向けた地域住民との交流イベント等や日本語指導ボランティアの養成講座の実施



「子どもが輝く未来のまちづくり」

未来の八幡を担う子どもの成長を地域で一貫サポート

子育て世代のあらゆる負担軽減

充実

- ・ **小学校給食費の完全無償化**
- ・ 中学校給食費の負担軽減助成
- ・ 就学前施設における「**おむつ無料おてがる通園**」の通年実施

子育て支援の充実

新規・充実・継続

- ・ こども誰でも通園制度の実施に伴い、当該事業を実施する民間園を支援
- ・ 子育て支援施設における**利用者支援事業（相談事業）の拡充**
- ・ **2歳児向けプレ保育**の実施

就学前施設・小学校・中学校環境整備

新規・継続

- ・ こども園、幼稚園及び小中学校の**LED化**
- ・ (仮称) **南ヶ丘こども園整備** (設計)
- ・ **橋本小学校給食室及びトイレ大規模改造**
- ・ **中学校校舎の空調設備更新** (設計)
- ・ 中学校全校に熱中症対策として**製氷機設置**

母子保健事業の充実

新規・充実

- ・ **産後ケア事業**において、これまでの居宅訪問型、宿泊型に加え、新たに**通所型を導入**
- ・ 母子健康センター機能の移転 (設計)

学校教育の充実

充実

魅力ある学校づくりを進めるため、子どもの生きる力の育成に向けた学校独自の取組を推進



「『健幸』のまちづくり」

「健康」で「幸せ」を実感できるまち八幡の推進

健康推進事業の充実

新規・充実

- ・ 骨粗しょう症検診を集団検診から個別検診に変更し、検診期間を拡充
- ・ やわたスマートウェルネスシティ計画の次期計画策定に向け、アンケート・分析を実施
計画期間：R10～R19（10年間）
- ・ 特定健診受診率向上のため、専用LINE開設及びインセンティブ付与を実施 国保特会

高齢者等への支援

充実・継続

- ・ 75歳以上の高齢者に対して高用量インフルエンザワクチンの選択接種実施
- ・ 高齢者の生きがい・居場所づくりの進展を図る「多世代交流通いの場事業」の実施

公園施設の充実

新規・継続

- ・ 八幡市民体育館屋根及び外壁のほか、トイレの改修

「『観幸』のまちづくり」

自然と歴史文化が織りなす文化観光まちづくりの推進

幸せと出逢う観光まちづくりの実現

新規・充実

- ・ 淀川河川公園背割堤地区において、川辺を活用したアウトドアアクティビティなどの社会実証を実施
- ・ 歴史まちづくり計画に関する調査

特産品「ヤワタカラ」ブランド力の強化

継続

- ・ 市外での対面販売モニタリングやイベント出展等、様々な手段を活用して積極的にプロモーションを実施



「活力のまち やわた」

新たな価値の創造と土地利用の転換を推進

地域公共交通の再編

充実

石清水八幡宮駅前への乗り入れをはじめ、コミュニティバスルートの見直し・新設、予約型乗合交通の導入

農業経営の支援

充実

高温耐性のある水稲品種への切替に対して支援

石清水八幡宮駅周辺整備に向けた取組

新規
継続

・「石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン」を踏まえ、まちづくり基本構想の策定に着手

・放生川の踏切道の拡幅工事及び踏切道の通行環境の改善に着手

2月補正

未整備農地への取組

継続

未整備農地の現況調査を実施

商店街等の賑わい創出

新規

商店街等の空き店舗を活用した賑わい創出の取組を支援

「安心・安全のまちづくり」

災害に強い「安心・安全」で持続可能なまちづくり

総合計画策定

新規

第6次総合計画策定に着手

旧庁舎及び敷地環境整備

継続

新本庁舎の防災拠点機能を強化するとともに、市民の活動拠点となる「防災・市民広場」を整備

行政デジタル化の拡充

充実

・市役所に来庁することなく申請、証明書発行ができる「行かない窓口」の充実
・証明書発行等キャッシュレス決済導入
・マイナンバーカード等を活用した「書かない窓口」システム導入

公共施設再編

継続

公共施設再編計画策定

災害への備えの充実

継続

吉野遊園に雨水地下貯留施設を整備

下水道事業

13か月予算
（4億円規模）

「活力」ある「安心・安全」なまちづくりに向けた基盤づくりの推進

科手土井線道路整備（放生川踏切道拡幅工事）（再掲）

橋りょう長寿命化（沓田橋補強補修工事）

学校施設の安心安全対策の実施

男山東中学校グラウンド改修

▶活力ある八幡市の基盤づくりを進めるとともに、安心・安全への対策をしっかりと推進

物価高騰対策の実施（8年度当初予算）

食料品等の物価高騰による負担を軽減するための支援

市民1人あたり6,000円の現金給付

水道料金減免（2期分）

▶国の地方創生臨時交付金を活用し実施